



『人生邂逅である』

「飯塚毅先生との出会いに感謝」

高井法博会計事務所
TACTグループ関連11社代表

税理士 高井法博

事務所の所長室に三人の写真を掲げている。その内の一枚が、私に職業会計人としての生き様を教えていただいた、今は亡き飯塚毅先生である。民間企業で勤務の傍ら税理士試験に挑戦し、一日四時間の睡眠時間で頑張り合格した。一年後大変お世話になった大恩人の会社をお許しをいただいて辞め、この資格だけを頼りに開業した。税務署にいたことも、また会計事務所に勤務したことも、学歴も人脈もなく資金もない中で、まさに手探りのなかで事業を進めていた。そんな頃、TKCの北条さんが何度も入会のお誘いに来てくださった。お客様も資金も能力も知識も殆ど無いくせに、屁理屈をつけて入会を一日延ばしにしていた。

一、人生は邂逅である

そんな折、名古屋でTKCの全国大会が開かれ、この大会中の飯塚先生の講演会に招待をいただき参加した。講演は真に圧巻であった。「職業会計人としてのあり方」「人間としてどう考え生きるか」を、自己探求のための命懸けな禅の修業の

末に見性を許された「高い思想」「志」をもとに、更に内外の文献、学説、史実を検証され、また多くの口うるさい一癖も二癖もある同業者を瞠目、心酔させられる御姿、最強の国家権力である国税庁、検察庁と闘った飯塚事件をはじめ、まさに血の滲むような困難を乗り越え、TKCをここまで大発展させられた実績、話しの内容に「そうだな、そうなのだ」「こう生きるべきだ」と、血沸き肉踊り大感激し、いても立つてもおれず、一日いや一瞬たりとも速くご指導をいただきたいと、会場で北条さんを探し出して入会をお願いした。以後は殆どのTKCの研修には女房をはじめ、全職員とともに参加し、最前列で聴講した。名古屋で年一度飯塚先生が講演される秋季大学にはバスをチャーターし、お客様もお連れした。各種行事や事業に参加させていただくなかで、逆に私自身が講師や、テープや本の出版をさせていただく機会も得た。素晴らしい人のまわりには、素晴らしい人が集まる。全国の名士・経済の師や生涯の友人に知り合えた。困った時、苦しい時、

迷った時、色々教えていただいている。これも全てTKCを創設された飯塚先生のおかげである。

二、人間の性格は変えられる

多くの人は、自分の性格は変えられないものだとか、またはそう信じている。この問題は、人類にとっても古代から、重大な問題として取り扱われてきた。色々なお客様にお会いしても「私ってこういう人間なのだ」と主張し、これは変えられないと思っている人が多い。この点について飯塚先生は「人間が生まれてから、今日までの間に、無数に近い経験をもち、その経験の中で知らず知らず、発想法の癖ができていき、それが固まってしまふもの、換言すれば『習慣』によって心にしみついたもの」で、これを「薫習」と言い、これを粉砕することは並大抵ではできない。しかし、人間は自分の本質が「空」であるとの確証体験をがっちり

と持ったときに、薫習の束縛から解放され、自己の運命形成能力までも手に入れることができる。つまり、命懸けの修行をすれば、人は自分の性格を変えることができる」と教えていただいた。私自身を振り返ってみて、後向きで引込思案な性格などーそれがもとで今まで一杯失敗し、損をしてきたー、自分自身の嫌な性格を変えることができるのならと、藁をもつかむ思いで飯塚先生に師事

した。「知性と行動の選択は全く別人である」と、知行合一の重要性を教えてくださいましたこと「見ずや君 明日は散りなさん花だにも 命をかけてこの時を咲く」と、その瞬間瞬間全力を尽くすこと、また人の命は百年足らずであり過ぎてみればあつという間の命であるに過ぎぬので、その許された時間の中で、毎日在必死に生きて行くこと、そしてお互いにこの世に生きる間は「自利利他」の精神に基づき、社会のために聖行を続けることを教えていただいた。この「自利利他」については、次号にでもぜひ一度取り上げてみたいと思う。

勉強や試験は、自分一人の努力で良い点がとれる。しかし、生きていくうえで、最も大切な「考え方」「思想」を身に付けるには「高い思想」を持った人に出逢わないう限り難しい。たつた二時間の飯塚先生の講演を聞くことにより、私の人生は好転した。その先生も昨年十一月二十三日逝去された。心からご冥福をお祈りいたします。しかし、先生は私の心の中には生き続ける。

感謝合掌



社員教育の第一人者 染谷和己先生と